



やりがいは、
ここから。



四国総合通信局

若手職員からのメッセージ



ICTを活かした地域課題の解決

ICTによる四国の産業の高度化

豊かなライフスタイルのための生活支援

多様な働き方の実現

四国の未来を支える人づくり

安心して暮らせる環境づくり

デジタルで創る、四国の時代。
通信で守る、四国の未来。



日常の当たり前を支える仕事

就職活動中の業務説明会で四国総合通信局を訪れた際に、日々発展している情報通信分野で四国を活性化できることや、基本的に地元の松山勤務であることに惹かれ、志望しました。

毎日の生活に何気なく溶け込んでいるテレビやラジオ、携帯電話などは電波によって利用することができます。そんな私たちの生活に欠かすことのできない電波を管理する仕事に携わることができるところが当局の魅力だと思います。

私が現在所属する放送課では、まさにテレビやラジオの放送・受信が円滑に行われるための環境を支えています。その中でも、私は四国管内の放送事業者から提出される申請に基づき無線局の許認可を行っており、電波法や放送法等を確認し、必要に応じて放送事業者への聞き取りを行い、使用する電波が他の無線局に干渉しないかなどを検討しながら審査を進めています。

法律や技術系の知識に乏しい状態で入局しましたが、3週間ほどの新規採用研修をはじめとして、専門的な知識を学べる研修が充実しており、知識面は入局してからも補うことができます。日々新たな知識を学んでいくことは楽しく、視野を広げていくことができるため、やりがいも感じられます。また、業務で困ったときにも相談しやすい環境なので、安心して働くことができています。



情報通信部 放送課

令和6年4月 行政採用（法文学部出身）



One day schedule

- 8:30 始業
メール・予定の確認
- 9:00 申請の審査・電話対応
- 12:00 昼休み
- 13:00 起案
- 14:00 事業者との打合せ
- 16:00 決裁・免許状等の発送
- 17:15 終業

Private time



休みの日はカフェでゆったり過ごしたり、少し遠出をしたりして過ごすことが多いです。夏季休暇には友人と沖縄旅行に行きました。カレンダー通りの休みでスケジュールを立てやすいので、仕事もプライベートも充実させたい方におすすめの職場だと思います。

無線で支える空と海

入局のきっかけは、説明会で感じた職場の雰囲気の良さと、多くの若手職員が活躍している姿に惹かれたことです。来年度（採用3年目）からは東京の本省での業務に2年間従事する予定です。四国総合通信局での経験を踏まえて、より広い視点で通信行政に関われる機会があることは、総合通信局ならではの魅力だと思います。

私の所属する無線通信課（航空海上関係）では、船舶や航空機に使用する無線局の許認可や四国管内の無線局検査などの業務に携わっています。現地に赴いて無線設備を直接確認することもあり、船や飛行機の安全運航を支える責任とやりがいを感じています。通信分野は日々進化しており、制度や技術も常に更新され続けています。そうした変化に対応しながら、社会の安全や利便性を支える仕事に携われることに、日々充実感を覚えています。

職場は和やかで風通しが良く、分からぬことも気軽に相談できる雰囲気があります。また、テレワークや時差出勤などを用いた柔軟な働き方が推奨されており、非常に働きやすいです。安心して働ける環境を重視している人にピッタリな職場だと感じています。皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています！



無線通信部 無線通信課 (航空海上関係)

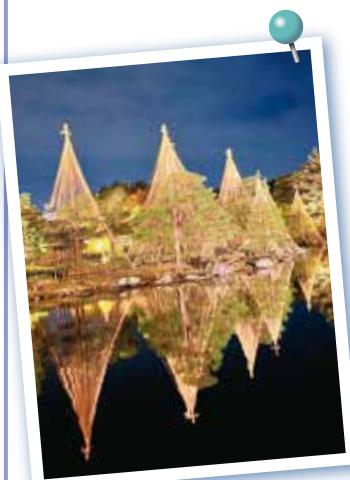
令和6年4月 行政採用（工学部出身）



One day schedule

- 8:30 始業
メール・スケジュールを確認
- 9:00 申請書の処理・電話対応など
- 12:00 お昼休憩
- 13:00 無線局検査
- 16:30 帰局・検査のまとめ
- 17:15 終業・定時退庁！

Private time



旅行が好きです。社会人になると忙しくて旅行に行けなくなるのでは…と思っていましたが、全くそんなことはありませんでした。休暇も取りやすい環境で、自分の時間を大切にしながらフレッシュでき、日々の生活を送ることができます。

電波の有効利用のために

私が入局を決めたきっかけは、説明会で業務内容を知ったことでした。地元で働きながら地域に貢献できる仕事に魅力を感じ、「ここなら自分も頑張れる」と直感しました。

現在は電波利用企画課に所属し、「電波をもっと有効に使ってもらうための仕事」に携わっています。具体的には、職員が無線局の許認可業務で使用するシステムや、国民が無線局に係る電子申請を行うためのシステムの運用・管理を担当しており、問い合わせ対応を行っています。職員と国民という異なる立場・ニーズを持つ利用者に対して、それぞれの視点に立った対応が求められるため困難を感じることもありますが、的確な対応ができたときには成長を感じられます。また、無線局監理業務の効率化や行政サービスの向上に貢献できている実感があり、大きなやりがいを感じています。

入局後すぐの新規採用者研修や職場内の研修も充実しており、同期と関わる機会も多く、互いに刺激を受けながら成長でています。また、業務においても先輩方が親身になって丁寧に教えてくださるので、安心して業務に取り組めます。

四国総合通信局は、安心して働ける環境と、地域に貢献できるやりがいのある仕事が揃った職場です。興味を持っていたら、ぜひ説明会に参加してみてください。



無線通信部 電波利用企画課

令和6年4月 行政採用（法文学部出身）



One day schedule

8:30 メール・予定の確認

10:00 免許課からの質問対応①

12:00 同期とランチ

13:00 免許課からの質問対応②

15:00 電話対応

17:15 終業
家のんびりすごす

Private time



休日は愛犬とのんびり過ごすのが至福の時間です。退庁後はネットショッピングを楽しんだり、有休を使ってちょっと長めの旅行に行くこともあります。旅行から帰ってきたあとは、愛犬との時間がよりいっそう大事に感じられます。

電波利用環境を守るために

私が四国総合通信局を志望したきっかけは、社会を支える無線という概念に興味があったこと、2年間の東京勤務以外の転勤がなく人生設計がしやすいこと、説明会を通して職場の雰囲気が良いと感じたことです。入局後もこの印象は変わっておらず、自分らしく働くことができています。

電波は、携帯の通信回線から飛行機の離発着に使用する航空無線、防災行政無線まで、様々なところで利用されており、社会や皆さん的生活にとって重要で欠かせないものです。私の所属している監視調査課では、電波監視や警察・海上保安庁との共同取り締まり等を通して、より安全で安心できる電波利用環境を整備しています。社会や国民生活を守る仕事ができていることに大きなやりがいを感じています。

電波監視というと専門的な知識が必要なように感じますが、心配する必要はありません。理系出身の私も無線の知識は無い状態で入局しましたが、法律や技術的な知識を身につける研修の機会が多くありますし、上司も丁寧に教えてくださる環境が整っています。四国総合通信局では、文系理系関係なく採用を行っていますので、興味を持った方は是非一度説明会へ来てみてください。



電波監理部 監視調査課

令和6年4月 技術系採用（工学部出身）



One day schedule

8:30 メール・予定の確認

9:00 出張へ出発

10:00 警察と共同取り締まり

12:00 出張先でランチ

13:00 帰局

15:00 出張のデータ整理

17:15 終業

Private time



退庁後や休暇は、我が家の大愛犬と一緒に散歩をしたり、趣味のゲームに没頭しています。有給休暇が取りやすい他、定時での退庁を推進しているため好きなことに時間を費やすことができます。最近はお腹が出てきたのでランニングしたいと考えています。



国民の命を守る通信を目指して

大学時代の経験から、防災に携わる業務をしたいと思ったことが入局のきっかけです。数ある防災業務を調べている中で、情報通信という新たな切り口から防災にアプローチできる四国総合通信局と出会いました。それから業務内容を深く知るうちに、防災に限らず多様な地域課題を解決していくICTの可能性に強く惹かれ、入局を決めました。

私は現在、自治体の防災行政無線や消防無線の許認可業務を担当しています。災害時に必要不可欠である「情報」をいかに迅速かつ正確に全ての国民に伝えるかを考え、そのシステム構築を支えていくのが私の仕事です。電波法等の根拠法令に適合したうえで地域のニーズを満たすことができるよう、日々考えながら業務に携わっています。責任のある仕事ですが、自分の仕事が国民を守ることにつながるため、大変やりがいがあります。

専門知識がない方でも、充実した研修や上司の心強いサポートがあるので安心してください。新しい知識を得ることはとても楽しく、日々成長を実感できます。少しでも興味をもった方は、ぜひ四国総合通信局へ！皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています。



無線通信部 無線通信課
(陸上関係)

令和5年4月 行政採用（法文学部出身）



One day schedule

- 8:30 始業
1日のスケジュールとメールの確認
- 9:00 無線局免許申請の申請書受付、処理
上司と打合せの準備
- 12:00 昼休み（同期とランチ）
- 13:00 自治体との打合せ
- 14:00 上司と打合せの整理
- 17:15 終業
友人と食事に行ったり、
家でゆっくり

Private time



休日は、街中を散歩したり友人とカフェへ行ったりと、のんびりと過ごしています。大学時代に所属していた軽音楽サークルの仲間と集まって時々ライブをすることもあります。自分の時間を十分に確保することができ、プライベートも充実しています。



知識と経験が問題解決の鍵

総合通信局は文系出身でも日々進化する情報通信分野に触れながら働くため、そこに魅力を感じ志望しました。また、転勤がほとんどなくライフプランを立てやすいことにも魅力を感じました。

現在私は、無線従事者免許（自動車の運転免許証をイメージしてもらうとわかりやすいです）に関する申請処理や、海上関係の許認可業務を担当しています。

具体的には「免許証をなくしてしまったので再発行してほしい」「新しく無線機を買ったので、船で使いたい」といった申請に対応し、書類などに問題や漏れがないかといった面から審査し、許可を出す仕事です。免許をした無線局がきちんと動作しているか確かめるために行う「検査」のために出張をする機会も何度かあります。

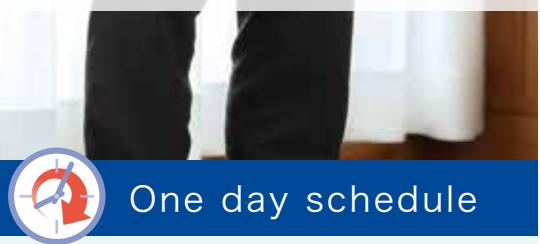
知識の量はもちろんのこと、過去の類事例や経験が問題解決への大きな鍵となることから、知識や経験が豊富な先輩方のサポートを受けながら日々仕事に励んでおります。

専門的知識が必要になる場面が多いですが、先輩方の力を借りながら、なんとかこなせています。休みの取りやすさ、残業の少なさに関しては確かに実感しています。



無線通信部 無線通信課 (航空海上関係)

令和5年4月 行政採用（法学部出身）



One day schedule

- 8:30 始業
スケジュール・メール確認
- 9:00 無線局申請書の審査
電話の対応
- 12:00 昼休み
- 13:00 無線局免許状の交付準備
- 15:00 検査に必要な書類の準備
- 17:15 終業

Private time



退庁後はスーパーで夕食を買った後、駅周辺を歩いたり公園に行ったりしています。いつのまにか1時間経っていた、なんてこともしばしば…休日は散歩ついでに街のイベントを覗いたり、実家に帰って猫と触れ合ったりしています。プライベートの時間もしっかりと充実させることができる職場です。

四国での快適な暮らしのため

ICT利活用で、四国住民のより快適な暮らしづくりに貢献したいと思い志望しました。業務説明会に繰り返し参加することで、地元である四国で働くこと、日々進化していく情報通信分野に携われること、職場環境がホワイトであることなど、ここで働きたいと思える魅力が多くある職場だと感じ、入局を決めました。

担当業務は、アマチュア無線やタクシー無線などの許認可業務です。趣味や仕事のために無線通信を行う国民の皆さんのが安心安全に電波を利用できるよう、電波法等の各種法令に則り申請書の審査業務に励んでいます。法律や無線工学について専門知識がない状態で入局しましたが、研修やOJTが充実しているので日々楽しく学びながら働けています。

ICTやデジタル分野など、情報通信行政に少しでも興味がある方には、おすすめの職場です！局全体で、有給休暇取得やテレワーク、時差出勤、定時退庁等を推奨しており、働きやすい職場です。

私は業務説明会がきっかけで四国総合通信局を知りました。ぜひ業務説明会や官庁訪問に参加してみてください。



無線通信部 無線通信課
(陸上関係)

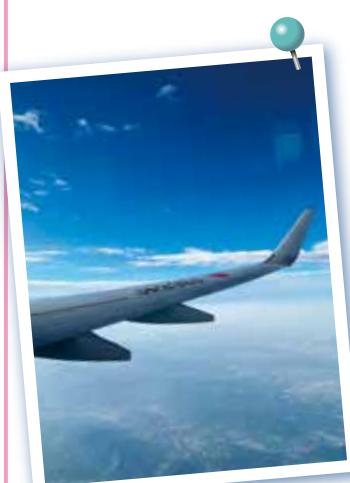
令和5年4月 行政採用（経済学部出身）



One day schedule

- 8:30 始業
メール、スケジュール等の確認
- 9:00 無線局申請書の審査
- 12:00 昼休み（同期と昼食）
- 13:00 無線局申請書の処理、電話対応
- 15:00 免許状の発送作業
オンライン研修等受講
- 17:15 終業
家でゆっくり過ごす

Private time



インドア派なので、休日は基本的に家で過ごしています。動画を見たり、ゲームをしたり、だらだら過ごしています。最近お金が貯まってきたので、ずっと欲しかったiPadを買いました。時には有休を取得し旅行に行くこともあります。

地域に寄り添う仕事のかたち

私は、松山でやりがいを感じられる仕事をしたいと思っていました。そんな時に、松山勤務で転勤なし、生活に欠かせない分野に行政の立場で働きかけることができる四国総合通信局を知りました。説明会などを通して、自分に合った職場だと実感し、入局を決めました。

私の主な業務は、販売代理店届出制度に係る業務、また電気通信事業法に係る消費者保護・相談業務です。販売代理店届出制度は、携帯電話のキャリアショップのような電気通信サービスの販売代理店から届出をしてもらい、法令違反等の問題が生じた場合の迅速な対応等を可能とするためのものです。トラブルに遭った消費者を守るためにも必要不可欠な制度です。

研修については、東京の研修所での研修や局内での研修など、年間を通して様々な研修が行われています。入局してすぐの新規職員研修は全国の同期と交流しながら学ぶことができました。そのほかの研修では、今の自分に必要なものを選択しながら、効果的に学ぶことができ、非常に充実した研修環境です。

今後に欠かせないICTに携わることができ、ゆとりをもって働くことができ、プライベートも充実させられる、そんな職場です。皆さんとともに働くことができる日を楽しみにしています！



情報通信部 電気通信事業課

令和5年4月 行政採用（教育学部出身）



One day schedule

- 8:30 始業
メール・予定の確認
- 10:00 課内打ち合わせ
- 12:00 同期とランチ
- 13:00 届出処理
- 15:00 電話対応
- 17:00 明日の予定確認
- 17:15 終業

Private time



私は休みの日はのんびり気の向くままに過ごしています。この前は、キノピオに会いに行きました。こっちを見てくれません。キノピオは案外素っ気ないので。おいしいものを食べるのが好きです。ラーメンも好きです。みなさんもいかがですか？

利活用の推進で四国の未来を創る

日々発展し続ける情報通信技術の最先端に関わることができ
る業務内容に惹かれ、情報通信技術の普及促進を通じて、四國
の発展に貢献できる点に魅力を感じて志望しました。また、説
明会で職場に行った際に感じた職員の雰囲気の良さや、転勤が
ないという働きやすい環境も入局の決め手です。

私はICT利活用の推進、研究開発の促進業務を担当していま
す。ICT利活用の推進では、ICTセミナーや研究交流サロンな
どの各種イベントを開催しており、開催にかかる事務処理や各
種調整を行っています。研究開発の促進では、四国地域の大学
を訪問し、各種研究開発プロジェクトへの公募提案を検討して
いる研究者の方の相談対応をしています。公募内容の説明や提
案に向けたアドバイスを行い、四国の研究者の方々を支援して
います。最先端技術に触れることが多い環境の中、勉強の日々
で大変なこともありますが、自分の成長を実感することができます。

業務で困ったことやわからないことがあっても上司に質問し
やすく、有給休暇の取り
やすさや定時退庁など、
雰囲気が良く、とても働
きやすい職場です。ぜひ
一度説明会にお越しいた
だいて、職場の雰囲気を
感じ取ってもらえたたらと
思います。



情報通信部 情報通信振興課

令和5年4月 行政採用 (社会共創学部出身)



One day schedule

- 8:30 始業
メール、スケジュールの確認
- 9:00 セミナーの準備
(講師との各種調整等)
- 11:00 研究者の方の相談対応
- 12:00 お昼 (同期とランチ)
- 13:00 課内打ち合わせ
- 14:00 セミナーの準備
(周知や当日の資料準備等)
- 17:15 退庁
お買い物に行ったり、家でのんびり

Private time



休日と有休を合わせて旅行に
行っています。昨年は、西日本
を中心に旅行に行き、きれいな
景色を見たり、美味しいご飯を
食べたりしました。気分転換に
なるだけでなく、旅行に行くこ
とを楽しみに日々の仕事に励む
ことができます。3年目から
の本省勤務時には、東日本をせ
めていきたいです。

新規採用職員に聞きました！

令和7年度、新たに四国総合通信局に加わった職員たちにインバビューを行いました。

新規採用者研修では、ビジネスマナーや国家公務員の倫理を学び、東京都の研修所では全国の同期とともに電波法や無線通信技術、ネットワーク技術などの基礎を学ぶ機会がありました。

現在は先輩職員の指導の下、一人前の職員を目指して日々業務に取り組んでいます。

今回は、四国総合通信局を志望した動機や職場の雰囲気について語ってもらいました。

Q1. 志望動機を教えてください。



無線通信部
無線通信課

行政採用

地元の松山で働きながら四国に貢献できる仕事であること、職員の人柄、職場の雰囲気の良さに惹かれ志望しました。また、採用3・4年目の本省勤務以外の転勤がほとんどないという点もライフプランが立てやすく、魅力に感じました。



情報通信部
電気通信事業課

行政採用

四国の人々の暮らしをよりよくしながら、家族や友人と支え合うことのできる地元で暮らし続けたいという想いがあり、基本的に松山勤務である四国総合通信局の業務説明会に参加しました。そこで、強くしなやかで温かい先輩職員と接し、デジタル化による地域課題の解決に関する業務にも興味を持ったため、第一志望に即決しました。

Q2. 入局前後のギャップはありましたか？



無線通信部
無線通信課

行政採用

良い意味でのギャップがありました。デスクワーク中心だと思っていたが、施設見学や研修、無線局検査の出張など、外に出る機会も多いことに驚いています。

また、入局前は専門知識への不安もありましたが、若手向けの勉強会が充実しており、学びながら成長できる環境が整っていると感じています。

あたたかい雰囲気の職場というイメージは入局前から大きく変わることはありませんでした。2年目の先輩職員が私たちのサポートをしてくれるメンター制度もあり、職場内でのコミュニケーションも円滑に取ることができます。

想像以上に幅広い業務を取り扱うことへのギャップを感じたこともありました。研修制度や上司の指導も充実しており、日々刺激を受けながら業務に取り組めています。



Q3. 職場の雰囲気や働き方について教えてください。



電波監理部
監視調査課
技術系採用

業務で困っていることがあつたら、周りの人から声をかけてくれて、相談に乗ってくれる環境なので、とても働きやすいです。年代が異なる人ともコミュニケーションが取りやすいので、和気あいあいと働くことができています。



総務部
財務室
行政採用

穏やかで過ごしやすい雰囲気の職場だと感じています。上司の方々もフランクに接してくださり、気軽に質問等ができる空気で、安心して仕事に取り組めています。

また、有給休暇の所得がしやすく、月に1回以上を目安に、計画的な休暇をとることができます。仕事とプライベートの両立がしやすい環境が整っていると感じています。



朗らかで気配りの行き届く先輩職員に囲まれ、居心地がとても良いです。特に私の業務では、係で相談し合って意思決定を行う場面が多いのですが、互いの話に丁寧に耳を傾け、前向きに対話する雰囲気があるため、採用1年目でも積極的に自分なりの考えを伝えることができています。

Q4. 受験生へのメッセージをお願いします。

業務内容や職員の雰囲気に興味のある方は、ぜひ業務説明会にご参加ください。パンフレットだけでは伝えきれない、四国総合通信局の魅力を、直接感じていただけるはずです。試験勉強や二次試験対策は大変かと思いますが、無理をせず、時にはしっかりと休息を取りながら、自分の力を信じて乗り越えましょう！

私はこの通信局の採用パンフレットを見たことが、ここを志望するきっかけの一つとなりました。今この文章を読んでくださっている受験生の皆さんも何かの縁だと思い、少しでも惹かれる部分があれば、業務説明会等へ参加してみることを強くお勧めします。そして、将来の希望進路を選ぶ際に選択肢の一つとして検討していただけると幸いです。勉強や自己分析で大変な時期だと思いますが、悔いの残らない選択ができるよう、頑張ってください！



採用から半年間の歩み >>>

4月



採用後、全国の同期と共に、総務省や研修所で約1か月間研修を受けます。無線技術や電波法などの基礎的な知識の習得からビジネスマナーの講義まで幅広い研修があります。

5月



四国に戻ってからも職場研修を行います。局内研修で各課の業務を学ぶほか、無線局を実際に運用する施設として、放送局のスタジオを見学します。

6月



6月1日は「電波の日」。電波法施行を記念した式典にスタッフとして参加し、情報通信の歴史の重みを感じます。

採用



7~9月



採用から6か月間は条件付採用期間として指導員から様々な実務指導を受けながら、徐々に仕事を習得します。

10月



条件付採用期間が終了し、正式に通信局の一員となりました。これから様々な業務に意欲的に取り組んでいきましょう！

研修制度

入局後すぐに新規採用職員研修があり、公務員として基本的な心構えや通信行政の基礎的な知識を習得します。その後は担当業務に応じた実践的な専門研修や局内研修が用意されています。

育児休業取得者の声



平成30年4月 行政採用(工学部出身)

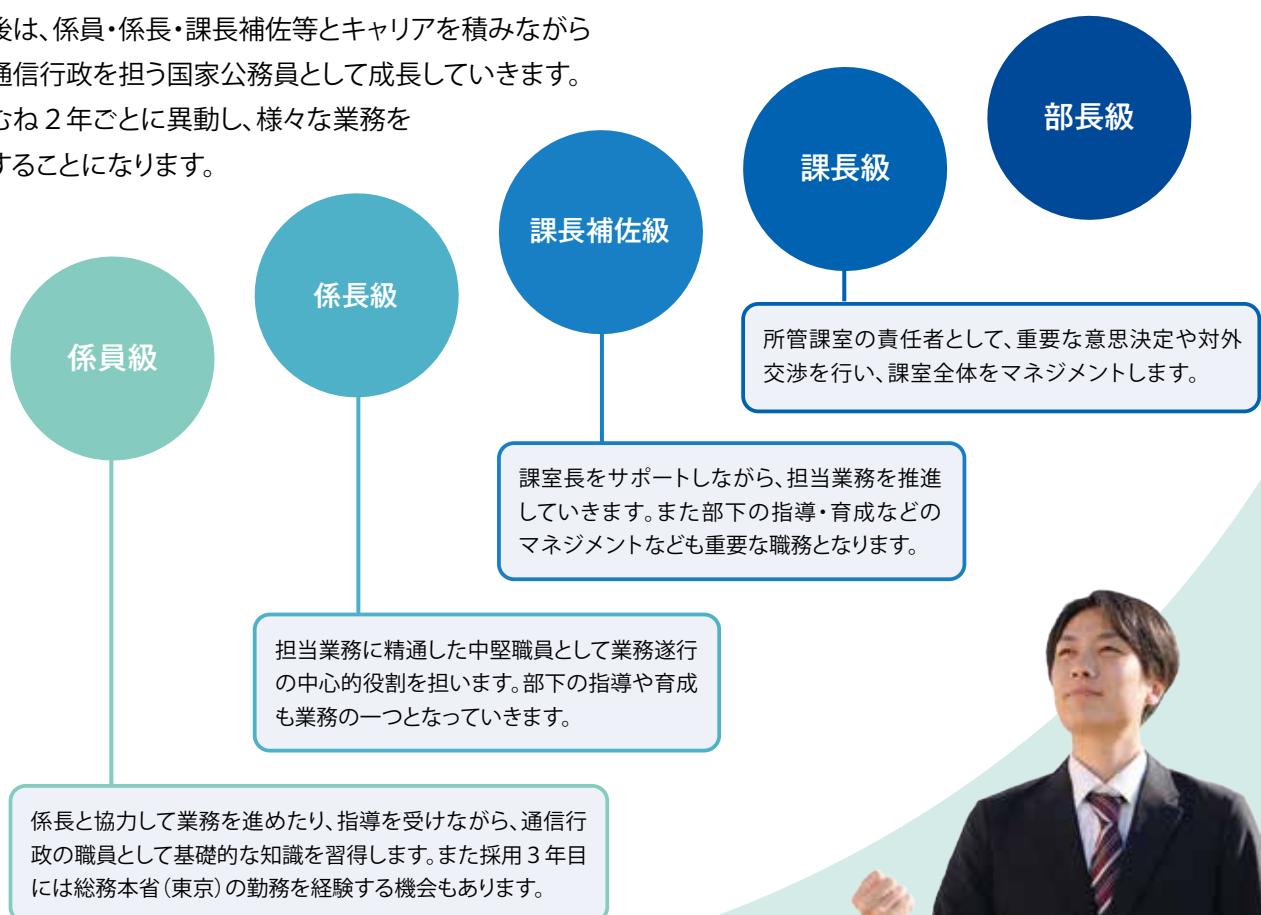
産後は妻に安静にしてほしい、子どもの成長を間近で見ていたい、と考え、育児休業を取得しました。上司への相談時は勇気がいりましたが、「ぜひ！」と快く了承してくださり感謝しています。

実際に育児を行ってみると、当然のことですが分からぬことだらけ。ネットで調べたり、妻と相談したりしながら日々勉強です。息子とだけでなく、妻との絆も深まったように感じます。

育児休業取得後も、充実した両立支援制度のおかげで、安心して働きながら子育てを楽しんでいます。

キャリア形成について

入局後は、係員・係長・課長補佐等とキャリアを積みながら情報通信行政を担う国家公務員として成長していきます。おおむね2年ごとに異動し、様々な業務を経験することになります。



Q & **A**

よくある質問

Q. 勤務地はどこですか。

A. 当局は四国4県を管轄していますが、出先機関がないので愛媛県松山市勤務となります。ただし、採用後3年目からの2年間は総務本省（東京）で勤務をしていただく機会があります。また、キャリアアップのため、本省での勤務を希望することも可能で、海外勤務も夢ではありません。

Q. 電波の知識はありませんが、技術的なことに対応できるでしょうか。

A. 当局は行政、技術系の試験区分にとらわれず人物本位の採用をしています。採用後、本省や情報通信政策研究所（東京都国分寺市）において約1か月間の新規採用者研修があるほか、各種業務に直結した専門的な研修を20コース以上準備しています。

Q. 採用人数はどれくらいですか。

A. 過去5年間の採用状況は以下のとおりです。

令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
2	1	1	1	2	3	2	2	4	2

Q. 採用後はどのような業務を経験できますか。

A. 本人の希望や適性などを考慮して、より多くの部署での業務経験を積んでもらうことを目的に、おおむね2~3年ごとに担当業務が変更となり、無線局の許認可やICT利活用の推進など様々な部署を担当していただきます。配属先や業務内容について、行政と技術系の区別はありません。

各課の主な業務

総務部

総務課

局全体の総合調整をしています。広報活動や行政文書の管理のほか、職員の人事や福利厚生の事務などをしています。

財務室

会計管理全般、庁舎管理、資材・財産の調達・契約・管理を行うほか、電波利用料の徴収事務をしています。

信書便監理室

信書便事業者の参入支援のための周知活動や四国の信書便事業の許認可及び監督をしています。

情報通信部

電気通信事業課

電気通信事業の監督、青少年のネット利用環境の整備、大学等の研究開発の推進、地域コンテンツの流通促進などをしています。

情報通信振興課

Wi-Fi環境の整備、オープンデータ利活用の推進、テレワークの普及等、ICT/IoT利活用を推し進めて地域の活性化に取り組んでいます。

放送課

放送局、CATVの許認可、テレビ・ラジオの受信障害相談の対応、臨時災害放送局の開設支援などをしています。

無線通信部

電波利用企画課

四国の周波数割当状況の管理や電波の利用状況の調査、地域のための電波利用の利活用の促進をしています。

無線通信課（航空海上関係）

飛行機や国際・国内船舶など上空や海上で使用する無線局の許認可や無線従事者免許の交付をしています。

無線通信課（陸上関係）

警察無線や消防無線のほか携帯電話やアマチュア無線など陸上で使用する無線局全般の許認可をしています。

電波監理部

電波利用環境課

電波適正利用のための周知広報や電波の安全性に関する説明会を開催しています。

監視調査課

不法・違法電波の監視や混信妨害源の調査、警察・海上保安庁との共同取締りなどを行っています。

Shikoku Bureau
of
Telecommunications

総合通信相談所

情報通信行政に関する相談窓口です。

防災対策推進室

ICTを活用した防災・減災のための対策を推進しています。

サイバーセキュリティ室

サイバーセキュリティ政策の推進に取り組んでいます。

コンテンツ適正製作取引調査室

放送コンテンツ製作取引適正化の推進に取り組んでいます。

四国総合通信局

総務部総務課人事係

〒790-8795 松山市味酒町2丁目14-4
TEL089-936-5012

採用情報はこちら→



(職員の所属部署は執筆当時のものです)